

はじまる。看護の夢、わたしの未来。

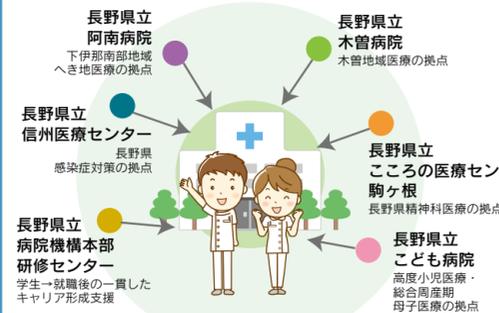
信州木曾看護専門学校

- 開校 平成 26 年 4 月
- 課程 医療専門課程 看護学科 3 年課程
- 修業年限 3 年
- 入学定員 30 人 (総定員 90 人)

長野県立病院機構では特色ある 5 つの県立病院と研修センター機能を活かし、地域とともに看護への夢を支援します。

学校の特徴

平成 26 年に開校以来、高い国家試験合格者を誇り、卒業生は、主に県内の病院等で活躍中です。また、進学をして保健師、助産師の資格を取得した卒業生もいます。少人数制で丁寧な講義を心がけ、在校生は和気あいあいと学んでいます。



長野県立病院機構本部研修センター

県立病院が安全で安心な医療を提供するため、機構全職員の知識、技術、資質の向上を図るとともに、優れた指導者の育成を目指します。また、県内医療水準の向上に貢献するため、県内外の医療機関等と連携し、シミュレーション教育を活かした研修の充実を図ります。その目標実現のために、以下のように取り組んでいます。

- ①機構のみならず、県内の医療水準向上のため、シミュレーション教育のレベルアップを外部指導者とも協力し推進します。
- ②地域医療ならびに専門医療を提供できる医療人の育成を支援します。
- ③多職種連携に関する教育の推進と研修を実践します。
- ④県内中核病院との連携強化による人材育成ネットワークを構築します。
- ⑤各種の職員研修を通じてキャリア形成支援をします。
- ⑥職種別専門研修の開催・支援をします。

また、当センターは県の信州医師確保総合支援センター・県立病院機構分室として位置づけられており、医療人材の確保と育成にも力を入れています。



スキルラボ 初期研修医 シミュレーション研修 新規採用職員研修

研修センターのネットワーク



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

本部事務局
〒380-8570 (住所記載不要)
長野県長野市大字南長野字幅下 692-2 長野県庁 4 階
TEL026-235-7160 (直通) FAX026-235-7161
E-mail honbu@pref-nagano-hosp.jp

● **本部研修センター**
〒382-8577 (住所記載不要)
長野県須坂市大字須坂 1332 長野県立信州医療センター内
TEL026-246-5540 FAX026-246-5559

● **長野県立信州医療センター**
〒382-8577 (住所記載不要)
長野県須坂市大字須坂 1332
TEL026-245-1650 (代表) FAX026-248-3240
長野県立信州医療センター
訪問看護ステーションはなみずき
TEL026-246-5564 (代表) FAX026-246-5583

● **長野県立こころの医療センター駒ヶ根**
〒399-4101 長野県駒ヶ根市下平 2901
TEL0265-83-3181 (代表) FAX0265-83-4158

長野県立こころの医療センター駒ヶ根
訪問看護ステーション「こまほす」
TEL/FAX0265-98-0735

● **長野県立阿南病院**
〒399-1501 長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1
TEL0260-22-2121 (代表) FAX0260-31-1014
長野県阿南介護老人保健施設
TEL0260-22-3800 FAX0260-31-1085
長野県立阿南病院訪問看護ステーションさくら
TEL0260-31-0102 FAX0260-31-0030

● **長野県立木曾病院**
〒397-8555 長野県木曾郡木曾町福島 6613-4
TEL0264-22-2703 (代表) FAX0264-22-2538

長野県木曾介護老人保健施設
TEL0264-22-2677 FAX0264-22-2781

長野県立木曾病院介護医療院
TEL0264-22-2703 (代表) FAX0264-22-2538
長野県立木曾病院訪問看護ステーション
TEL0264-22-2030 FAX0264-22-2800

● **長野県立こども病院**
〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100
TEL0263-73-6700 (代表) FAX0263-73-5432

● **信州木曾看護専門学校**
〒397-8567 長野県木曾郡木曾町新開 4236
TEL0264-24-0020 FAX0264-22-4070



Nagano Prefectural Hospital Organization

Nagano Prefectural Hospital Organization



長野県立こども病院



信州木曾看護専門学校



長野県立木曾病院



長野県立こころの医療センター駒ヶ根



長野県立阿南病院



長野県立信州医療センター



本部研修センター

地域の明日を医療で支える



地方独立行政法人 長野県立病院機構

MESSAGE

県民の皆様によりよい医療を提供するために

長野県立病院機構（本機構）は2010年（平成22年）に設立され、信州医療センター（須坂市）、こころの医療センター駒ヶ根（駒ヶ根市）、阿南病院（阿南町）、木曽病院（木曽町）、こども病院（安曇野市）の県立5病院で構成されています。加えて、阿南病院および木曽病院には介護老人保健施設を併設しています。病院ごとに特色があり、地域に適合した医療を提供する病院があり、総合医療あるいは最先端医療を担う病院もあります。それぞれの県立病院の医療機能を高め、県民の皆様によりよい医療を提供することが、本機構の役割です。その役割を果たすべく、医療人育成のため、2014年（平成26年）に信州木曽看護専門学校を開校し、2017年（平成29年）に研修機能を備えたスキルストラボを本部研修センター（信州医療センター内に設置）に整備し充実させました。

令和2～3年に猛威を振った新型コロナウイルス感染症が病院経営に打撃を与え、医療体制の見直しを計らざるを得ない状態です。併せて、今後急速に進行する人口減少・少子高齢化に、医療がどのように対応していくかも大きな課題になっています。

新型コロナでは、医療資源（医師・看護師などの医療人材、検査、薬剤など）に限りがあることを再認識させられました。対応できる限度を超えた患者に、どのようにすれば最適な医療を提供できるか、いまだに大きな問題です。経営のため必要最低限のベッド数で病院を運営しなければならなくなると、それを超える患者が出現した場合、病院のみでの対応が難しくなります。新型コロナで学んだように、柔軟なベッド運営が可能な医療体制が必要です。また、病院の備蓄を最小限にす

るために生じる医療資源不足にどう対処するか、BCP（Business Continuity Plan、事業継続計画）の考え方をを用いて、県民の皆様と一緒に考える必要があります。

日本の医療費が年々増加し、国の財政を圧迫している言われています。医療側から考えると、医療は診療報酬にて上限がコントロールされていますので、医療経済が大きく変化することはありません。ただ、新型コロナにより、遅々として進まなかった医療改革が週・月単位で進み、医療体制は改善しました。新薬・ワクチン承認の時間短縮、宿泊・自宅療養の運用（ベッドの柔軟な運用）、医療従事者の働き方改革（種々の具体的サポート）、医療の役割分担（医療資源の効率的運用）などの多くの医療改革は不幸中の幸いでした。深刻化する人口減少・少子高齢化対応にも有効です。特に、電話・オンライン診療の拡大は、過疎地域の多い長野県において利用を進めていかなければなりません。

本機構の5病院は広い長野県に点在しています。今までは離れていることがデメリットと考えられていましたが、新型コロナがオンラインシステムを進歩させ、より身近な医療手段になりました。オンラインを通じて5病院を1つのバーチャル病院のように運営できれば、病院機能を向上させながら医療コストを下げられると考えます。そのように考えると、本機構が長野県全体に実際の診療拠点を有していることがメリットのように思えます。

本機構は、県民の皆様と各病院がお互いに信頼し尊重し合うことで、最高の医療サービス提供を実現することを目指しています。



地方独立行政法人
長野県立病院機構
理事長 本田孝行

5つの県立病院

安心で質の高い
医療サービスを提供する

地方独立行政法人長野県立病院機構は、県民の皆様から求められている「地域住民の健康を守るかけがえない病院」、「地域の医療を支える基幹的な病院」、「他の医療機関では対応が困難な高度・専門医療を提供する病院」としての役割を果たすために、地域の医療ニーズを的確に把握し、診療体制を充実させながら県民の視点に立った安全で安心な医療を提供します。

また、5つの県立病院と本部研修センター、信州木曽看護専門学校的人的・物的・知的資産を有機的に連携させて有効に活用しながら、地域の医療・保健・福祉機関や大学附属病院等、県内外の医療機関との連携を図り、地域全体の医療機能の向上に貢献していきます。

そのために、優れた人材の組織的な育成・確保、医療に関する調査・研究に取り組んでいます。

SHINSHU 長野県立信州医療センター

- 許可病床数 289床
- 診療科目 内科・呼吸器内科・感染症内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・脳神経内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・血管外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・精神科・病理診断科・リハビリテーション科・救急科
- 併設施設 長野県立信州医療センター訪問看護ステーションはなみずき

信州医療センターは、患者中心のチーム医療を理念に掲げ、須高地域の中核病院としての役割のほか県内唯一の第一種感染症指定医療機関、結核指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院としての責務を担っています。

日々の診療では、救急患者への24時間体制での対応など、地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと、多面的な診療機能を発揮しています。また、平成29年度に稼働を開始した東棟を中心に、がん早期発見機能の向上、健康増進・予防医療の充実、在宅復帰支援機能の強化を図るとともに、産科医療体制の維持・充実に努め、地域の医療水準の向上に寄与しています。

また、新型コロナウイルス感染症への対応では、感染症指定医療機関として積極的に病床を確保し、県内で最も多く感染者を受け入れるとともに、感染症センターの機能を生かし、行政や他の医療機関と連携し取り組んでいます。

その他に、本部研修センターと連携し、初期研修医をはじめとする医療スタッフの育成及びレベルアップのために、シミュレーション教育を積極的に取り入れるなど、地域医療の現場で活躍する医師の育成に力を入れています。



KOMAGANE 長野県立こころの医療センター駒ヶ根

- 許可病床数 129床
- 診療科目 精神科
- 併設施設 長野県立こころの医療センター駒ヶ根訪問看護ステーション「こまほす」

こころの医療センター駒ヶ根は、県内の精神科医療を支え、その向上に寄与すべく「精神科医療の公的中核病院」として、先進的専門医療と地域医療を提供しています。精神科救急医療の常時対応型病院として24時間365日対応し、m-ECT（修正型電気けいれん療法）、rTMS（反復経頭蓋磁気刺激療法）やクロザピン治療といった先進的な専門医療を提供することで患者さんの早期退院を目指しています。また、退院後も地域で安定した生活が出来るよう、地域に開かれた訪問看護ステーション「こまほす」の設置や、デイケアにも力を入れています。

児童精神科医療では、子どものこころ診療センターにおいて多職種初診等による医療の充実を図るとともに、精神科研修・研究センターと協働して専門人材の育成を進めています。依存症専門医療では、アルコール健康障害、薬物及びギャンブル等依存症に係る県内唯一の「依存症治療拠点機関」として、その役割を内外に示すため、新たに「依存症医療センター」を開設し、インターネット・ゲーム依存症への治療を開始するなど、専門医療機能の強化を図っています。

また、増加する認知症疾患への対応を強化するため、「認知症疾患医療センター（地域型）」を開設し、地元市町村・医療機関との連携を進めています。



ANAN 長野県立阿南病院（地域医療総合支援センター）

- 許可病床数 52床
- 診療科目 内科・精神科・小児科・外科・整形外科（皮膚科）・泌尿器科・婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科（ ）内は休診中
- 併設施設 阿南介護老人保健施設アイライフあなん（入所定員50人、通所10人）
長野県立阿南病院訪問看護ステーションさくら

阿南病院は、下伊那南部地域唯一の中核病院として、患者さん中心の優しさと思いやりのある医療の提供に努めています。へき地医療拠点病院として、無医地区への巡回診療や患者さんのご自宅へ医師と看護師が訪れる訪問診療、診療所への医師派遣などを行っています。また、救急告示病院として24時間365日、患者さんを受け入れるなど、地域の医療を支えています。

当院の診療圏は、高齢者人口割合が45%を超えており、地域包括ケア病床の稼働に加え、介護老人保健施設の併設、訪問看護ステーション事業の実施などにより、高齢者医療に力を注いでいます。

さらには、地域の医療・保健・福祉関係機関などとの連携のもと、地域に根差した医療を提供しています。



KISO 長野県立木曽病院

- 許可病床数 149床
- 診療科目 内科・精神科・脳神経内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科口腔外科・心臓血管外科
木曽介護老人保健施設アイライフきそ（入所定員50人・通所10人）
長野県立木曽病院介護医療院ウライフきそ（20床）
長野県立木曽病院訪問看護ステーションウライフきそ
- 併設施設

木曽病院は、木曽二次医療圏唯一の病院として、24時間365日体制で救急に対応するとともに、地域がん診療病院の指定を受け、がん診療の充実を図りながら急性期医療から里帰り分娩、更に在宅医療まで、都市部の病院と比較しても標準以上の医療の質とサービスを提供することを目指し、職員一同、診療にあたっています。

また、急性期病棟・地域包括ケア病棟・療養病棟を有し、併設している介護老人保健施設、介護医療院とも連携しながら、医療と介護の切れ目ないサービスを提供しています。

さらに、県立病院では唯一、DMAT（災害派遣医療チーム）を組織しているほか、赤沢自然休養林での森林セラピー支援や無医地区への巡回診療などの独自の取り組みも展開しています。



KODOMO 長野県立こども病院（総合周産期母子医療センター）

- 許可病床数 200床
- 診療科目 総合診療領域（総合小児科・内分泌代謝科・感染症科・アレルギー科・訪問ケア科）・血液腫瘍科・麻酔科・小児集中治療科・心臓血管外科・新生児科・産科・成育女性科・循環器小児科・神経小児科・小児外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・放射線科・臨床検査・病理診断科・リハビリテーション科・遺伝科・泌尿器科・眼科・こころの診療科・発達心療科・耳鼻咽喉科

こども病院は、一般の医療機関では対応が困難な高度で専門的な医療を必要とする小児の疾患を主たる対象として、診断・治療・相談及び指導を行う小児医療施設です。

長野県の総合周産期母子医療センターとして、出生前後の母体・胎児から新生児に至る一貫した高度専門医療を提供しています。

また、24時間体制での救急対応・ドクターカーで地域の医療機関に重症患者さんを出迎えに行く体制の整備、重症な患者さんを診療する小児集中治療室（PICU）など十分な受け入れ態勢を整備しています。



基本理念

県民の皆様により安心で質の高い医療サービスを安定的に提供していきます。

目標

- 1 基幹病院として地域の医療を支えるとともに、人口減少や少子・高齢化を見据えた医療を提供します。
- 2 医療・保健・福祉との連携を深め、地域全体の医療機能を向上します。
- 3 医療従事者の確保・育成機能の充実と看護人材の安定的かつ継続的な育成を図ります。
- 4 安全・安心な医療を提供し、患者サービスを一層向上します。
- 5 地方独立行政法人の強みを活かした確実な病院経営を継続します。

シンボルマークについて

- 5枚のハートは5つの県立病院を表し、5つの県立病院が一体となって、地域の医療を支えていくことを表しています。
- マークのグリーンの色は、生まれ変わった県立病院の清新なイメージと自然豊かな長野県の地域を表しています。

